

認定特定非営利活動法人 **地域福祉を考える会**
Society of Study for Community Welfare (略称SSCW)

発行：認定NPO法人 地域福祉を考える会
発行人：理事長 宮森孝史
事務局：〒259-1142

伊勢原市田中256番地の1-301
TEL・FAX 0463-95-6665
メール office@tiikifukusi.com
ホームページ http://tiikifukusi.com/

ニュースレター



共生社会 住みたい・住んでいて良かった街づくりと人づくり

副理事長 船橋 晴

大山の雪が消え、花便りが聞かれます。今冬は記録的な豪雪や寒波による災害の報道が多くありました。生活圏を確保するための物資の輸送・屋根や交通路の除雪等に当たっての、地域社会の協働・人と人のつながりや助け合いの大切さを改めて思いました。

最近では少子超高齢化による家族構成や生活環境の変化などにより家族・親戚・地域の人々のつながりが希薄になり「生活の不安や問題」を抱える人が多くなっています。今後はこれまでと違ってその「不安や問題」を「他人事」とせず「我が事」として「丸ごと」地域で受けとめ、支え合える強い地域社会の構築が求められています。実現には多くの課題がありますが、地域力を付け皆が安心して過ごせる地域づくりに、私達はどんな貢献が出来るかを考えてみました。

地域に独居者や高齢者・障がい者・子育て中の親子等が気軽に立ち寄れる居場所づくり（現サロン可）。そこでは種々の情報交換や悩み事の相談が出来る、又家事や短時間の子守の代行・買い物手伝い等日常生活の助け合い、独居在宅者の訪問や下校児童の見守り・声かけを担い、お互いが持つ力を出し合い助け合う事で地域のつながりを取り戻したいです。

「ひとりぼっち」でなく寄り添って、安心して安全に生活の出来る地域づくりが必要と思います。在宅で老後が過ごせるように、訪問医師や在宅医療サービスが早期に充実することも望めます。

当法人では一昨年から「こども食堂・学習支援」、29年度からは「けんこうつながるうたごえ」活動が加わり、新たな人の輪が広がっています。

「人生100歳時代」を明るく楽しく、健康で心豊かに過せる地域社会づくりを自治会・民生委員さんなどの組織の皆様と共に知恵を出し・手を取り合って、既存のものをベースにして実現可能なものからつくって行きたいと思っています。



・・・平成30年通常総会・・・

日時：平成30年5月27日（日）午後2時～
場所：シティプラザ1階ふれあいホール
議題：第1号議案 平成29年度活動・収支報告
第2号議案 平成30年役員改選（案）
第3号議案 平成30年度活動・予算（案）
第4号議案 定款の一部改正（案）

第2部 研修会（仮題）「現代の脳について」講師 理事長 宮森孝史

こども支援事業 ～みなさまの善意とご支援に支えられ～ (こども食堂・学習サポートみらい・つなぐ)

学習サポートみらい・つなぐ

現在、児童・生徒は28名在籍しています。この春には12名を高校に送り出しました。水・金曜日と通いながら学習をし、先生たちとおしゃべりしたり、その中で家庭の事、友達の事を話したりし居場所づくりにもなっています。3月30日(金)にはお別れ会と球技大会をみなさんと楽しみます。

4月より活動日は水曜日から火曜日に変更され
火曜・金曜日になります。

(4月第1週はお休みです)

	火	金	火	金	火	金	火	金
4月	休	休	10	13	17	20	24	27



先般、学習サポート・みらい・つなぐの様子が取材され2月18日にカナフルTV「広がる子ども支援の輪～子どもみらいをスマイル100歳に～」で放映されました。ネットでご覧ください。



いせはら・みらいクワリンこども食堂

『5時30分になりました。みなさまお待ちせ～。』
元気なおばさんの声でオープンいたします。
里芋沢山のトン汁や・野菜高騰の中、毎回、有機野菜(サラダ菜・サンチュ)の提供には感謝です。子どもだけでなく、大人も含めて誰でも集える地域の居場所になっています。



どんなお話しているのかな～
美味しいですか？



1月25日(木)
かつ丼・
サンチュサラダ



2月22日(木)
サバの味噌煮・豚汁



3月6日(火)
ちらし寿司・ポテトサ
ラダ・すまし汁



●4月～6月の予定●

4月10日(火)、26日(木)

5月8日(火)、24日(木)

6月12日(火)、28日(木)

時間:午後5時半～7時半
場所:だいろくコミュニティー広場
来るいん(フラサアサヒ1階 奥)

こども食堂へ食材・物品 ありがとうございます

◆ 1月～3月のご提供者様(敬称略) ◆

飯塚秀一(善波)・佐野たか(三ノ宮)・白くま企画、匿名(郡山市・福島)・三光工業(鈴川)・テーエスガス(株)(伊勢原)・ユーコープ(飯山)・鳥海秀郎、鳥海あき子、熊澤文雄(上平間)・安藤雅代、大久保里子(板戸)・山本義治(下糟屋)・熊田秋男、後藤佐代子(高森)・木内めぐみ(沼目)・山田勉(日向)・中村さゆり(平塚)

成年後見部会

二人の兄弟のがんばり

後見部会 杉浦正規

二人の兄弟に初めて出会ったのは今から3年半前、小田原家庭裁判所にて家裁調査官や二人がお世話になっているグループホームの職員、そして我々NPO法人のメンバーで保佐開始手続きや本人たちによる同意書記入、保佐人として代理権付与内容の確認を行ったときである。兄は23歳、弟は21歳である。1か月半後家裁より保佐開始の書類が届き、私は兄を担当することになった。

兄は自動車販売店に勤めており、支援員によれば慎重派でシャイと聞いていたので、保佐人になって初めの2か月間は6回ほど会いに行った。会ううちに打ち解けてくれて、ある時マウンテンバイクを買いたいと言う。その後二人でスポーツ店へ行き、マウンテンバイク、ヘルメット、盗難防止器具等購入した。マウンテンバイクはお店にあった一番高い品物だった。当時、お小遣などは現金渡しだったが、郵貯口座を作り、NPO法人事務所より必要額を振り込み、兄は必要時におろせるシステムにした。弟も同様。このことでマウンテンバイクの保険料を郵貯口座より振り込み、保険に加入することができた。

保佐開始より3か月後、自動車免許を取りたいと言う。一緒に某自動車教習所に申込みに行った。5か月後普通自動車免許が取れたと弾む声で連絡がきた。この間好きなトレーニングもやめて、免許取得に空いている時間、すべてを投入した由。

しばらくすると今度は自動車が欲しいという。免許取得から2か月後、愛車を手に入れた兄は、これで「大人になった気がする」と誇らしげだった。具体的目標を持ち、達成のためには好きなことも犠牲にし、やればできる見本だとほめてあげた。今では愛車で通勤し、トレーニングも再開し、さらにアパートを借り、一人住まいで充実した生活を送っている兄である。

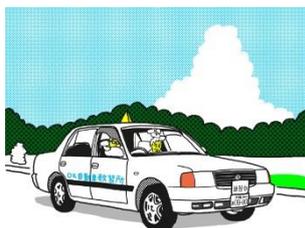
NPO法人の中で担当替えがあり、

初めて会ってから1年半強過ぎてから弟の担当になった。弟は快活で明るく初めからなんでも話げできた。スポーツマンで、神奈川県代表選手(サッカー、トラック競技など)の一人でもある。兄とは別のグループホームに住んでいて、職場までは小田急、JRを乗り継いで通っている。仕事は有機溶剤を使用する職場なので、有機溶剤防止マスク等の着用や健康管理についていろいろアドバイスをした。会社では要員が少ないので残業は多いが、代表選手として遠征に行くときには会社より休暇をいただけている。好きなトレーニングを仕事帰りに行うとグループホームの風呂の門限9時に間に合わないところぼしていた。

担当してから2年後、自動車免許を取りたいという。実技は問題ないが学科は厳しかなく思ったが、決意は固かったので、挑戦することにした。某自動車教習所に二人で申し込みに行った。学科が心配だったのでICレコーダーを購入し、某自動車教習所での学科の授業を録音し、自室に戻ってからテキストを見ながら復習してもらうことにした。兄同様、好きなトレーニングもやめて集中して取り組んだ甲斐があって、また兄の支えもあり、5か月で自動車免許を手にすることができた。

免許が手に入ったら今度はすぐ車が欲しいという。任意保険や駐車場等必要な手続きをし、兄の勤める販売店で車を手にした。会社までの途中、峠越えがあるので、雪が降る前にスノウタイヤに履き替えた。おかげで愛車での通勤は快調と喜んでいる。今では兄のようにグループホームを出て、独り立ちしたいと希望を持っている。

このように具体的、明確なやれば何とかできそうな目標を立てて、周りの援助もいただきながら集中して実施すれば為せば成るである。ステップバイステップで頑張っている兄弟にエールを送るとともに今後の発展に期待大である。



児童コミュニティクラブだよ!

児童コミュニティクラブでは安心・安全に考慮し異年齢の子ども達と一緒に過ごし、その生活の中で優しさ、思いやり、逞しさなど様々なことを学びあい社会性を培います。個別または集団、体を使っての遊びなどを取り入れ、子ども達が楽しんで毎日を過ごせるような企画を考えてきました。今年度の行事などの振り返りをして新年度を迎える準備をしたいと思っております。平成29年度が大きな事故もなく無事に過ごせましたのは保護者の皆様、地域の皆様、学校・保育園の先生方の見守りのおかげです、ありがとうございました。今後とも児童コミュニティクラブの子ども達・支援員へのあたたかい応援をいただけますよう、お願いいたします。

4児コミ代表 安武 敬子

コマ回し



折り紙



いざ、勝負!

コマ回し

できるかな?

<未来っ子クラブとの交流>
2月21日、むかし遊びを一緒に楽しみました。



教えてください



けん玉に挑戦

だるま落とし



大きなだるま落としです!



羽根つき

真剣です

けん玉



できた!!



羽根つきしましょう

クイズです

豆はペットボトルのキャップです。



<節分>

節分クイズをしました。
グループ対抗で盛り上がり
ました。



難しいね～

はいったかな？



<恵方巻>

今年の恵方「南南東」を
向いて、願い事を思いな
がら食べました。



モグモグしゃべらない



おしゃべりしないでね



鬼の面をつけて…



何を思っで食べている？



バナナ食べよ



みんなでたべよ



仲良くね



おかわり？



いろいろチョコフォンデュ



<バレンタインデー>

チョコフォンデュ、美味しく
いただきました。



いろいろありますよ！



おいしいよ！



平成 30 年度入所説明会を
4 児コミとも
3 月 23 日(金) 18:30 より行
いました。出席いただいた保護者
の方、ありがとうございました。

子育てひろば「きらきら」



◆ 開催日 (4月～6月分) ◆

	火	木	火	木	火	木
4月	—	12 🖐️	17 🟩	19	24	26
5月	1 🖐️	10	15 🟩	—	—	31 🟪
6月	—	—	12 🖐️	14	19 🟩	—

- ◆活動場所：シティプラザ1階
ふれあいホール
- ◆時 間：午前10時～12時
- ◆参加費：一組100円 予約は不要
・出入り自由です。
どなたでも参加できます



- 🖐️ 月初めの日には手形づくりの日、お子さまの成長を楽しみましょう
- 🟩 ヨガ体操 🟪 おはなしばる～ん

『子育てひろば きらきら』 随想

「伊勢原のお母さん お元気ですか …」 今年もうれしい賀状が届いた。送り主は、以前ひろばに在籍した、今は東京に住む三人の子どものお母さん。

そんな「きらきら」も開設から13年が過ぎた。「地域福祉」という大きな問題意識の中に、子育てで支援への介入は、社会のニーズでもあった。そこで、専門知識のないおばさん群が、知恵を出し合い、試行錯誤の「子育てひろば・きらきら」が始まった。

手探りの中での親子さんとの関わりは、緊張の連続であったが、客観的な立場で、悲喜交々に耳を傾け、時には拙い経験を交えて「寄り添いと見守りのエプロンおばさん」で今日に至っている。

私が、日頃心掛けていることは、ひろばの見守りで培った子供への関わりを、周りの社会に向けることである。「困っている人はいないか？何に困っているのか？どんな手助けができるのか」等、ひろばの延長上に声かけをしている自分がいる。

以前、ある駅でのこと、ただ乳母車と荷物を持ち、幼児の手を引いた親子連れに声をかけた。母親はすぐに「子供をお願いします」と言った。私とつないだ女の子の小さな手から、暖かく柔らかな感触が伝わり、頼まれたことがとても嬉しかった。別れ際に丁寧なお礼を言われたが、私はそれ以上の満足感を味わったことを思い出している。

以来、遠慮しながら(?)も、声かけを心掛けている。それは、行動することで会話が生じ、交流が生まれるから。参加者さんとサポーターで育てた「子育てひろば・きらきら」もそんな場所であると自負している。

前述のママさん談「…伊勢原は第2のふるさとです。きらきらに出会えてよかったです。子供が大きくなるのを見守っててください…」 一人でもこんな人がいてくれることに、拙いサポーターながら、私にとり、よい年月が流れたことを実感している。



吉羽 澄江

友愛電話活動



「十四の心で聴くボランティア」

この度、伊勢原市社会福祉協議会会長様より、私が参加するボランティア活動に対し、ご褒美をいただきありがたく頂戴致しました。

私が生まれ育った伊勢原市に、ボランティア活動をして恩返しをしたく、「友愛電話初級講習会」に参加。講習会は、保健師様が「認知症について」、会からは「友愛電話活動の実際、会話の練習、電話をかける心得、登録、その他」を学びました。講習会終了時に担当者から「十四の心をもって聴くボランティア活動をしてください」とお話がありました。

私が以前、PBX 取扱業務に従事したときは、迅速・正確・親切を旨として勤めてまいりました。早速「十四の心で聴く」を質問しました。数日後「十四の心」を知り感動、友愛電話の仲間に入れていただきました。

お蔭様でと友愛電話から、私の今と未来の生き方を勉強させていただいております。

友愛電話の利用者様と、ボランティア仲間の皆様々に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

齊藤はつ江



＜友愛電話ボランティア交流会＞

日時：30年5月31日（木）
午後1時30分

場所：シティプラザ4階青年活動室

★友愛電話部会の方には後日連絡をいたします。

みなさ～ん

参加してくださいね



友愛電話ボランティア 電話でお話してみませんか？

方法 「友愛電話」ボランティアが、週に1度あなたにお電話します。

☆こちらから電話をおかけします。料金はかかりません

電話日 月曜日 午前(10:00～12:00)
月曜日 午後(13:00～15:00)
木曜日 午後(13:30～15:30)

目的 あなたの元気を確認致します。

申込み (社福)伊勢原市社会福祉協議会
0463-94-9600

「友愛電話申込み」とお伝えください。

けんこうをつなぐうたごえ

昨年10月から月1回土曜日に古川先生の掛け声でみなさんと童謡から歌謡曲そしてパタカラ体操などで元気に活動しています。場所の関係で同じ週にはなかなか確保出来ませんがみなさまの願いで4月からうたごえ部会(大矢代表)としてすすむことになりました。



♪うたごえ部会の仲間♪

部会の仲間が増えることを期待しています。お待ちしております！



<予定表>

活動日	場所	時間
4/14(土)	シティープラザ1Fふれあいホール	10:30
5/19(土)	シティープラザ1Fふれあいホール	5
6/16(土)	シティープラザ1Fふれあいホール	12:00

★参加費 300円

地域福祉を考える会
公式ホームページ



ご寄附者名簿(敬称略)

H30. 1月~2月
N・N3,000円、
伊勢原ひかりライオンズクラブ
30,000円、
匿名(4件) 5,402円

合計 35,402円

平成29年度累計 680,862円

ありがとうございます

2月13日(火)午後7時こみやにて、伊勢原ひかりライオンズ様定例会に当会の活動についてお話する機会をいただき、子ども支援事業に対し新倉理事長より協賛金を寄贈されました。

